

被災3県の雇用情勢

〔概況〕

○被災地の雇用情勢は、復興需要等による有効求人数の増加、人口減少、就職決定等による有効求職者の減少により、有効求人倍率が3県ともに1倍以上となっており、雇用者数は震災前の水準まで回復しているが、沿岸部では、有効求人倍率は高いものの、人口流出等の遅れにより、雇用者数が震災前の水準まで回復していない地域や産業もある。

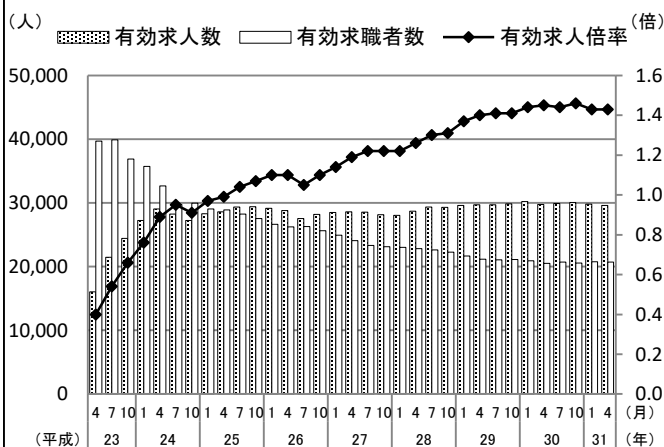
○雇用のミスマッチを解消し、被災者に寄り添った就労支援として、産業政策と一体となった雇用の創出を図るとともに、求職者の状況を踏まえた的確な職業紹介に努める。また、地域の基幹産業である食料品製造業（水産加工業）等について求人の充足に努める。

1 被災3県の有効求人倍率等の動向

岩手県

有効求人倍率
〔31年4月〕
1.43

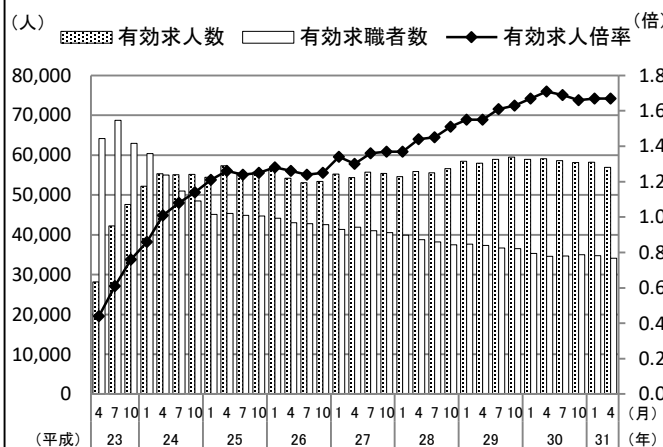
〔23年2月〕
0.51



宮城県

有効求人倍率
〔31年4月〕
1.67

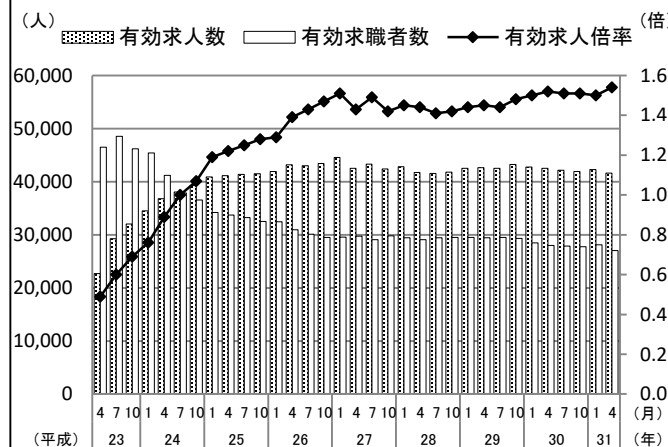
〔23年2月〕
0.52



福島県

有効求人倍率
〔31年4月〕
1.54

〔23年2月〕
0.50



※ 全国の有効求人倍率 31年4月：1.63倍 (23年2月：0.62倍)

2 安定所別の動向(沿岸部) ※単位:有効求人倍率(倍)、有効求人数・有効求職者数(人)。前年差、9年前との差は、(ポイント)。前年比、9年前との比は(%)。

安定所	有効求人倍率				有効求人数				有効求職者数			
	31年4月		30年4月	22年4月	31年4月		30年4月	22年4月	31年4月		30年4月	22年4月
	前年差	9年前との差			前年比	9年前との比			前年比	9年前との比		
岩手県												
久慈	1.03		1.05	0.20	1,184		1,114	463	1,146		1,059	2,325
	▲ 0.02	0.83			6.3	155.7			8.2	▲ 50.7		
宮古	1.16		1.25	0.36	1,729		1,777	851	1,496		1,417	2,352
	▲ 0.09	0.80			▲ 2.7	103.2			5.6	▲ 36.4		
釜石	1.13		1.39	0.32	1,521		1,835	751	1,346		1,323	2,380
	▲ 0.26	0.81			▲ 17.1	102.5			1.7	▲ 43.4		
大船渡	1.35		1.37	0.39	1,581		1,685	632	1,169		1,227	1,608
	▲ 0.02	0.96			▲ 6.2	150.2			▲ 4.7	▲ 27.3		
宮城県												
気仙沼	1.73		1.61	0.44	2,129		2,087	912	1,232		1,296	2,073
	0.12	1.29			2.0	133.4			▲ 4.9	▲ 40.6		
石巻	1.60		1.70	0.35	5,182		5,156	1,812	3,243		3,032	5,203
	▲ 0.10	1.25			0.5	186.0			7.0	▲ 37.7		
塩釜	0.98		0.94	0.34	2,760		2,702	1,520	2,826		2,863	4,482
	0.04	0.64			2.1	81.6			▲ 1.3	▲ 36.9		
仙台	1.74		1.78	0.42	37,671		39,078	15,733	21,610		21,936	37,563
	▲ 0.04	1.32			▲ 3.6	139.4			▲ 1.5	▲ 42.5		
福島県												
相双	2.14		2.15	0.47	4,126		3,944	2,018	1,932		1,836	4,302
	▲ 0.01	1.67			4.6	104.5			5.2	▲ 55.1		
平	1.54		1.51	0.41	8,806		8,777	3,913	5,717		5,796	9,578
	0.03	1.13			0.3	125.0			▲ 1.4	▲ 40.3		
全国												
全国	1.52		1.49	0.45	2,768,214		2,785,851	1,346,913	1,821,629		1,867,211	3,010,118
	0.03	1.07			▲ 0.6	105.5			▲ 2.4	▲ 39.5		